

# 多摩区

## みんなできれいなまちにしよう！

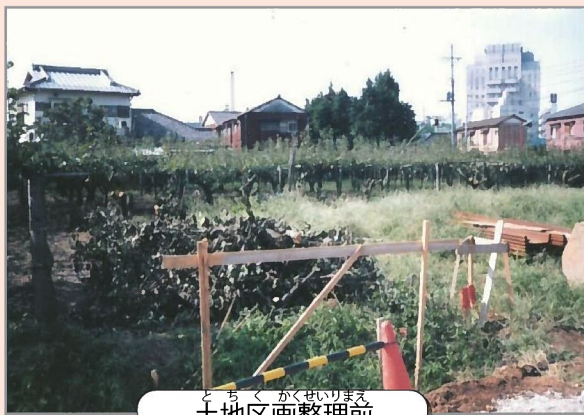
### 新しく生まれ変わるまち ～登戸土地区画整理事業～

登戸駅と向ヶ丘遊園駅の周辺の地域は、昔の津久井街道沿いにできたまちで、区役所や図書館などもある多摩区の中心地区です。しかし、古くからのまちなので、道は狭く救急車や消防車も通れませんでした。そこで、1988年(昭和63年)に川崎市は、土地区画整理事業でまちづくりをすることにしました。

現在は工事中ですが、将来はきっとさらにきれいなすばらしいまちに生まれ変わるでしょう。

#### ●土地区画整理事業ってなあに？

土地区画整理事業では、みんなで協力して、広くてまっすぐな道や大きい公園をつくれます。広い道や大きい公園ができると、安全なまちになりますね。



土地区画整理前



土地区画整理後

## まちはみんなの活動場所

## ～五反田自治会～

生田駅近くの五反田川沿いでは、5月にはたくさんのこいのぼりが飾られ、7月には七夕まつりが開かれるなどして、多くの人々にぎわっています。

五反田自治会のこれらの活動は、道に伸び放題で街灯まで覆っていた3本の木をみんなで協力して切り、花壇をつけたことから始まりました。



自治会に寄付されたこいのぼり

まちづくり事例だよ！

四季折々の花を植えると、通る人たちが花壇を見ながら歩くようになりました。また花と一緒にまちの歴史や出来事を知ってもらおうと、花壇に掲示板を立てると、立ち止まって見る人が増えました。そこで、話をしながら休憩できるベンチをつくり、声をかけあう輪が広がり、次々に新しい活動が生まれたのです。



子どもたちも  
地域ですることが  
あるんだね！



一方、落書きが絶えず、怖い雰囲気になっていた生田大橋の下のトンネル。大学生と三田こども文化センター、五反田自治会、川崎市が協力して落書きを消し、「わたしたちが見た・思う生田のまち」の絵を子どもたちが描いて飾ったところ、落書きはなくなりました。

### トピックス

## みんなの桜を守ろう！～二ヶ領用水宿河原堀を愛する会～

宿河原駅近くには、見事な桜並木が続く二ヶ領用水宿河原堀があり、桜の名所として地域に親しまれています。しかし、年々少なくなっていく桜並木やごみなどの悩みもありました。そこで、地域の大切な財産であるこの堀を守り伝えるため、町内会、PTAなど、住民のみなさんが集まって、2006年(平成18年)に「二ヶ領用水宿河原堀を愛する会」をつくり、まちづくりを行っています。



イベント企画・運営



清掃活動



花植え活動

その他に、二ヶ領用水や宿河原の自然、歴史、建物などの魅力を紹介するガイドマップ作成や、活動内容をみんなに広く知らせるために「愛する会たより」の発行を行っています。また、美しい桜並木の風景を守っていくため新しく建てる建物のルールについて話し合い、地域の人たちの意見を聞きながら、2012年(平成24年)に、「二ヶ領用水沿いの建物には、真っ赤のような派手な色は使わない」などのルールを決めました。

まちづくり事例だよ！